

新学習指導案 令和4年度～（記入例）

【参考】『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料 令和3年8月 国立教育政策所教育課程センター

○○科（ ）学習指導案 ○○高等学校 ○○科 ○年 令和○○年○○月○○日（○）第○時限 場所：○○○○ 指導者：○○ ○○		
単元(題材)名		
学習指導要領上の位置づけ	学習指導要領の各項目の「内容」に示された項目を記す。(内容のまとめ)	
単元(題材)の目標	「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」のすべての内容を踏まえて記す。	
単元(題材)設定の理由	＊この単元(題材)全体についての指導方針を述べる。[指導者の立場で書く] (1)生徒観 ・教科で身に付ける資質・能力の点で、学年目標への達成状況等について具体的に記す。 ・これまでの学習経験や既習事項の習得状況等(生徒がどのような学習を積み重ねてきたか、どのような実態にあるのか)を記す。また、その実態を踏まえて、当該単元(題材)の学習で身に付けさせたい力について記す。 (2)教材観 ・教科で身に付ける資質・能力育成の観点から単元(題材)で育成できることについて、具体的に記す。 ・生徒観を踏まえ、単元(題材)の目標を実現するために扱う教材の系統性、特徴、意義、価値等について記す。また、既習単元(題材)との関連や今後の展開等についても触れる。 (3)指導観 ・単元(題材)の目標を実現するために、(1)で記述した生徒の実態を踏まえ、(2)で記述した教材を用いた有効な指導の方針や方法を記す。 ・単元(題材)の目標の実現に向けた、生徒の実態に応じた教材の活用方法や言語活動を適切に位置付けた授業構成、指導形態や環境設定の工夫等について記す。 ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた指導上の工夫や手立てを明確に記す。	
単元(題材)の評価規準	知識・技能※	思考・判断・表現
	主体的に学習に取り組む態度	
『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料【高等学校 各教科】 (国立教育政策研究所教育課程センター)を参考にする。		

※職業に関する教科は知識・技術

◇指導と評価の計画（全5単位時間設定）

次	時	主な学習活動（時）	評価する内容	評価の方法
1	1	○単元の目標や進め方を確認し、学習の見直しをもつ。 ○情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について考える。 ○意見文作成に関する学習課題を知る。 ○学習課題の分析を行い、題材について考える。	[知識・技能] 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。	「記述の確認」ノート 情報の妥当性や信頼性を確認する方法について理解を深めているか確認する。
2	2	○目的に応じた情報検索の方法を考え、必要な情報を収集する。	[思考・判断・表現] ① 「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。	「記述の分析」ワークシート(思考ツールを印刷したもの) 適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしているかを分析する。
	3 本 時	○集めた情報について、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、主張と根拠を考え、テーマを付箋にまとめる。 ○グループで各自の主張を述べ合い、個々の根拠の妥当性や信頼性を相互に点検する。		
3	4	○伝えたい内容を検討するとともに、情報の組合せや根拠の示し方の工夫を考え、構成メモに記述する。 ○構成メモに基づいて、意見文を作成する。	[思考・判断・表現] ② 「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えている。	「記述の確認」構成メモ 自分の考えが的確に伝わるよう根拠の示し方や表現の工夫をしているかを確認する。
4	5	○推敲した後、グループで相互評価を行い、自分の文章の改善に生かす。 ○単元の学習で得た気づきをノートに記述し、グループや全体で共有する。	[主体的に学習に取り組む態度] 意見文を書くことを通して、情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め、伝えたいことを明確にし、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう根拠の示し方や説明の仕方を粘り強く考える中で、自らの学習を調整しようとしている。	「記述の確認」ノート 自分の考えを的確に伝えるため、情報の吟味や根拠の示し方をどのように工夫しようとしたのかを確認する。

○次・時・・・次単位で指導と評価の計画を構成する（1つの次が2時間以上にわたる場合もある）。

○主な学習活動・・・指導の計画を記述する。

○評価する内容・・・[知識・技能] [思考・判断・表現] [主体的に学習に取り組む態度] および個々の評価規準を記述する（複数の場合は①、②の番号を付す）。

○評価の方法・・・「行動の観察」「行動の確認」「行動の分析」「記述の点検」「記述の確認」「記述の分析」) および評価の資料を記入する。また、評価の資料の観点を記述する。

行動の例 話し合い、発表、プレゼンテーション、等。

記述の例 ノート、ワークシート、振り返りシート、ペーパーテスト、レポート、等。

◇本時のねらい（第 時）

※ 指導と評価の計画の該当する時間との整合を図り、生徒に実現させたいねらいについて、生徒の立場で書く。
 (例) ○○に関する社会的な課題について、解決策をグループで話し合うことを通して、自分自身の考えを表現する。

ねらいを達成するために、適切かつ効果的な学習活動となるよう工夫する。

◇指導過程

段階	学習活動	時間 (分)	◇指導上の留意点 ◆評価規準【観点】(評価方法) ※◆の次にAの具体的な姿の例と、Cへの手立ても記す
導入	[生徒の立場で書く] (例) 1 前時までの内容を振り返り、本時のねらいを把握する。		[指導者の立場で書く]
	生徒に示す本時のねらいや学習課題 (例)「○○に関する社会的な課題を解決しよう。」		
展開	2 ○○の課題を把握する。 (1) グループでグラフデータと新聞記事から○○に関する課題を発見する。 (2) 課題を板書し発表する。 3 ○○に関する課題の解決策について考える。 (1) グループで課題の解決策について話し合う。 (2) グループごとに解決策を発表する。 (3) 多様な解決策があることを知る。 (4) 発表をもとに解決策についての自分自身の考えをワークシートにまとめる。		◇学習活動について、指導上の重点、工夫、手立て、支援等について留意すべきことを具体的に記す。 (例)・生徒一人一人の学習進度に応じた手立て ・生徒が主体的な学習を進める手立て ・資料提示の機会や方法 ・効果的な学習方法や学習形態の工夫 ・つまずきのある生徒への支援 [文末表現例] ○ ～助言する × ～説明する ～配慮する ～指導する ～を促す ～させる ◆○○の課題の解決策について、自分自身の考えを表現している。 【思】(ワークシート) A:○○の課題の解決策について、現実的・具体的に考え、表現している。 C:本時の活動について質問したり、他者や他グループの意見や発表の内容について確認したりして、○○の課題解決策について自分自身の考えをもてるよう支援する。
まとめ	4 本時の学習内容を整理し、ねらいが達成できたかどうかを振り返る。		※A:Aと判断する根拠となる生徒の具体例を記す。 ※C:Cと判断した生徒に対する、具体的な指導や支援の手立てを記す。

【知・技】知識・技能
【思】思考・判断・表現
【態】主体的に学習に取り組む態度

資料	ワークシート、○○を表したグラフデータ、新聞記事
----	--------------------------